



わかば新聞

2026 年
5 月号
NO.129



第2部～花を植えよう

用意したプランターに土を入れ、バーベナなどの花を植えました。またアサガオの種を植えたペットボトルの手作り鉢をお土産に持って帰っていただきました。



5月のオレンジカフェ(第44回)は、〈第1部〉ヤクルト健康教室「熱中症を防ごう」と〈第2部〉「花を植えよう」の2つのテーマで開催しました。1部は、栄養士の方から、熱中症の症状、高齢者と熱中症、熱中症予防のために水分摂取や食事、入浴、室温管理など日常生活上の留意点や腸を整えることのお話がありました。

5/13

オレンジカフェ

わかばご利用者ご家族様、ぜひご参加下さい。

6月のオレンジカフェわかばは
公開学習会 -認知症サポーター養成講座-
「認知症の最新の知見を学ぼう」

とき 6月10日(水) 午後1時30分～3時
会場 わかば1階交流ホール
参加費 無料
講師 和歌山市地域包括支援課職員



素敵なマフ! 入所者様のご家族が作って下さいました。プロ並みの腕前。もったいなくて飾っておきたいです。(「認知症マフ」～手を温める飾りなどを付けたニットの筒状のもの。手を入れると落ち着く効果があると言われています)

デイ便り

4/25(土) お天気も良く、明日からは雨! 予報でこのままツツジが終わってしまうという日に四季の郷にツツジを見にドライブに行ってきました。途中、鯉のぼりも見れました。



ベンチのあるところでおやつを食べ、駐車場の歩道のところで写真もパチリ。ツツジの見える道筋をゆっくり車で走ると、うわーきれい! と歓声上がるほどの満開ぶりでみなさん喜ばれていました。

特別養護老人ホーム

わかば

〒640-8390 和歌山市有本 140

TEL (073) 475-0015 FAX (073) 475-0016

HPアドレス <http://www.nijiwakaba.com/> ※「にじわかば」で検索

ほ*ん*わ*か 子ども食堂

4月25日(土)、わかば交流ホールにてこども食堂が開催されました。初回よりスタッフとして参加させて頂いて、ほんわかエピソードが満載です。

一般の外食と異なり、皆さん、食事をされた後、食器を下げて下さいます。子どもも「ごちそうさまでした」と皿をスタッフに届けてくれ、「おりこうさん」と返すと、ママの分の食器も届けてくれました。「これ、ママの」と自慢げに。ありがとう！おりこうさん！って言葉をもらいに来てくれます。

また、今回、一人のママから・・・「あの～今日のキャベツのサラダ・・・」！！わぁ！クリーム！と思ったところに、「野菜嫌いの2歳の子供がこれ、美味しいと沢山食べたんです。すごいんです」と伝えに来て下さいました。

こども食堂の為に準備や当日の提供で少し疲れているところに十分すぎる栄養を下さるエピソードです。ありがとうございます。(ひ)



ビーズをお洋服と同じ色で作ったよ

暮らしのひとコマ

デイサービスの皆さんに「春」と聞いて思い浮かぶものをあげてもらいました。月曜日の方は「桜」、火曜日の方は「さくら、さくら」、水曜日の方は「暖くなる」、木曜日の方は「菜の花」、金曜日の方は「チューリップ」、土曜日の方は「筍」と多種多様の言葉があがりました。そして皆さんがあげてくれた言葉を使ってこんな作文をしてみました。

「春はさくら 暖かくなりて 菜の花
チューリップ咲き 筍ごはんをもちて
桜、桜と花見する」

清少納言の「枕草子」の冒頭の一説、「春は曙、やうやう白くなりゆく、山ざわ少し明りて紫だちたる雲の…」を拝借して作ってみました。なかなかの出来映え。

デイわかばの皆さんは文学にも通じていて、高尚な言葉遊びを楽しんだのでした。(ま)



スタッフの独り言

入所歴の長いIさんは内臓疾患があるため、食事制限をしなければならない方です。おやつを食べたい気持ちをこらえて、時には職員と喧嘩しながらも体重も減らしました。頑張っている姿にエールを送りたいです。

最近、特養に新しい方が数名入所されました。そのうちのお二人はショートステイやデイサービスのご利用経験があり、職員にはおなじみの方でした。

Aさんは、月1回ご自宅に外出されます。そのことが精神的な安定をもたらすのか、わかばに帰ってくると、にこやかに落ち着いて過ごしていらっしゃいます。Tさんはわかば新聞でもたびたび登場された最高齢の女性。とてもお元気でユニット内を歩いたり、自分でしっかりと御飯も食べられています。Tさんが歩かれる時はスタッフはハラハラしながらも「がんばって」と見守っています。(や)

編集後記

昨年は柏餅について編集後記でふれました。今年は鯉のぼりについて調べました。

江戸時代に武家で始まった風習で男児の無事な成長と出世を願う縁起物ということです。ちなみに一番上についている矢車は福を招くという意味があるそうです。ほくは田舎に住んでいるのでちらほら見かけますが年々減っています。うちにも男児がいるので、いいなあとは思っているのですが今年は九度山の鯉のぼりを見に行ったのと柏餅だけでした。日本の伝統的な風習として残っているってほしいなと思います。季節感もありますし

(や)

